

2020年2月13日

各位

会社名 株式会社キャリアインデックス  
代表者名 代表取締役社長 板倉 広高  
(コード番号：6538 東証第一部)  
問合せ先 取締役 齋藤 武人  
(TEL 03-5434-7730)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年4月26日に公表した通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### ● 業績予想の修正について

2020年3月期通期個別業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	3,102	805	805	483	23.34
今回修正予想 (B)	2,340	300	300	136	6.59
増減額(B-A)	△762	△505	△505	△347	
増減率(%)	△24.6	△62.7	△62.8	△71.8	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	2,357	778	778	483	23.11

(注) 当社は、2018年7月28日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

#### 【修正の理由】

当社は、集客したユーザーをクライアントに移送することで収益を得ておりますが、人材系メディアにおいて、ユーザーの獲得は順調に推移したものの、市場全体における人材サービスの多様化、及び当社クライアントニーズの多様化によりプロモーション活動を中心と

した Web マーケティングの効率が低下したため、2019 年 10 月頃に人材系メディアサイトの改善及び Web マーケティングの調整を行ったものの、サイトの改善及び Web マーケティング調整後の効果回復は即効性があるものではないことから、効果が簡単に発現するには至らず時間を要したために、当初予想を売上高で約 800 百万円、営業利益で約 348 百万円下回る見込みとなりました。

また、マーケティングソリューションにおいても、アカウント獲得は順調に推移したものの、アカウント獲得後のホームページ作成の進捗率が悪化し、求人情報の公開まで時間がかかり外注費等のコストが増加したこと、また、求人情報が多い方がマーケティング効率は上がる傾向にありますが、求人情報公開が遅れたことにより想定していたマーケティング施策が実施できずにマーケティング効率が低下したためコスト増加傾向となったことにより収益化が遅れ、当該状況を打開するために従来モデル（アカウント課金及び手数料収入）から応募課金モデル（「応募件数×単価」にて課金する成果報酬型）に移行を進めましたが、この過程において、従来モデルでは代理店としての代理店手数料収入がありましたが、モデル変更により当該代理店手数料が大幅に減少したために従来モデルの売上が減少し、当該減少を応募課金モデルでは補うには至らず、当初予想を売上高で約 380 百万円、営業利益で約 212 百万円下回る見込みとなりました。

なお、2020 年 3 月期第 3 四半期においては、人材系メディアにて、当社クライアントニーズ多様化への対応が進み、Web マーケティング効率が回復傾向であり、マーケティングソリューションにおいても応募課金への移行が順調に推移しております。

また、事業譲受した不動産賃貸メディア「DOOR 賃貸」も 2019 年 12 月 1 日から当社にて運営を開始していることから、2020 年 3 月期第 3 四半期以降は売上高及び営業利益ともに回復傾向となっております。

しかしながら、2020 年 3 月期第 3 四半期以降は回復基調が見られたものの、2020 年 3 月期中での当初予想までの回復を補うには至らず、その結果、今回、2020 年 3 月期通期個別業績について、当初予想を売上高で 762 百万円、営業利益で 505 百万円下回る見込みとなりました。

以上

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表当時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますのでご了承ください。